

地域を盛り上げるマエストロ

水越 直樹 さん



PROFILE

みずこし なおき (中町・67)
市文化協会会長。浜岡吹奏楽
団指揮者も務める。マラソン
やアマチュア無線、お菓子作
りなど幅広い趣味を持つ。

38年間の恩返し

浜岡吹奏楽団40人の楽団員を率いている水越直樹さん。昭和47年から10年間、池新田高等学校の吹奏楽部の顧問を務め、昭和53年には元教え子を中心に浜岡吹奏楽団を結成した。その後、38年にわたり情熱をもって活動し続けてきたおかげもあり、今では地域全体から楽団員が集まるようになった。

水越さんは本年度から市文化協会の会長に就任した。就任にあたっては「前会長が熱心な人だった分、自分に務まるか不安で、就任の話を受けるか悩んだ。でも、受けようと思ったのは、浜岡吹奏楽団が長年お世話になった文化協会に、恩を返したいと思ったから」と話した。

地域の盛り上げに貢献

市文化協会は囲碁や銭太鼓など67の専門部と、そこに所属する千人以上の会員から成り立っている。普段は各部署で活動をしているが、文化祭などのイベントは会員全員で協力して運営する。

水越さんは、4月に開催さ

れた同協会の総会で「協会の活動として、個人が楽しむのではなく、趣味の範囲で終わるのでなく、文化の素晴らしさを人々に伝えていくことも大切。会員同士で他の部門の活動や発表を積極的に見に行くなど、お互いに盛り上げてほしい。まずは自分たちが協会内部から盛り上げ、そこから多くの人に楽しさを発信していこう。そして地域を盛り上げよう」と呼びかけた。

人とつながる場を

人と交流することが好きだという水越さんは「会長になったことで交流の範囲が広がり、知らなかった人とも交流できて得した気分。踏み出してみたら新しい世界が広がった」と就任しての感想を話す。「人と交流するということは生きていく上で必要不可欠なものだと思っている。社会的に人とのつながりが薄くなる中、文化協会が多くの人と交流ができる場となるようにしていきたい」と熱い思いを語った。

文化の素晴らしさが伝わりと共に地域が盛り上がっていくことに期待したい。